

## 平成 25 年度 第 2 四半期（上半期）報告 説明資料

## 朝日生命保険相互会社

当社は、平成 24 年 4 月から中期経営計画「Action (3 カ年計画)」をスタートし、「第三分野マーケットに強い朝日生命」を目指し、特徴的な商品・サービスの展開やチャネル面での対応強化等、様々な取組みを行っております。

その一環として、昨年 4 月には公的介護保険制度に支払要件を完全に連動させた介護保険「あんしん介護」を、昨年 10 月には引受基準緩和型医療保険「かなえる医療保険」を発売し、それぞれ累計の販売件数が 9 万件、4 万件を突破し、今年度も引き続き多くのお客様にご好評を頂いております。

また、今年 7 月には代理店チャネル専用の商品開発体制を構築し、新保険商品ブランド「スマイルシリーズ」を立ち上げております。さらに、今年 10 月には一定期間働けないときの収入減の不安にそなえるために、新たに所得保障保険を発売しております。

こうしたなか、平成 25 年度第 2 四半期（上半期）報告においても、当社の注力する第三分野業績や収支・財務面とも総じて堅調に推移しており、今後も引き続き中期経営計画「Action (3 カ年計画)」での取組みを通じて、安定したフロー収益の確保と自己資本の拡充を図ってまいります。

## 1. 業績の状況

## (1) 新契約

平成 25 年度上半期の新契約年換算保険料（新契約＋転換純増加）は、一時払年金保険等の新契約の減少により、前年同期比 68.9%となりましたが、「第三分野部分」については、前年同期比 108.2%と伸展しました。

## 個人保険・個人年金保険の新契約（新契約＋転換純増加）の状況

区分	平成 25 年度上半期		平成 24 年度上半期
		前年同期比	
新契約年換算保険料 （新契約＋転換純増加）	113 億円	68.9%	164 億円
うち新契約（新規契約）	87 億円	62.2%	139 億円
うち転換純増加	26 億円	107.4%	24 億円
うち第三分野部分	72 億円	108.2%	66 億円

## (2) 消滅契約

平成 25 年度上半期の消滅契約年換算保険料（死亡・満期等を除く）は、前年同期比 93.0%となりました。

### 個人保険・個人年金保険の消滅契約の状況

区分	平成 25 年度上半期		平成 24 年度上半期
		前年同期比	
消滅契約年換算保険料 （解約＋失効＋減額－復活）	124 億円	93.0%	133 億円
うち解約・失効契約	111 億円	93.2%	119 億円
消滅率（解約＋失効＋減額－復活）	2.20%	△0.13%	2.33%

## (3) ご契約の継続率

ご契約の 7 月目・13 月目・25 月目継続率は、いずれも高水準を維持しています。

### ご契約の継続率の状況

区分	平成 25 年度上半期		平成 24 年度上半期
		対前年同期増減	
7 月目継続率	96.5%	±0.0%	96.5%
13 月目継続率	93.1%	+0.3%	92.8%
25 月目継続率	86.3%	+0.6%	85.7%

## (4) 保有契約

保有契約は、前年度末比 98.7%となりましたが、「第三分野部分」については、前年度末比 100.5%となりました。

なお、「第三分野部分」の保有契約全体に占める割合は、前年度末に比べ、0.6 ポイント上昇し、30.2%となりました。

### 個人保険・個人年金保険の保有契約の状況

区分	平成 25 年度上半期末		平成 24 年度末
		前年度末比	
保有契約年換算保険料	5,575 億円	98.7%	5,651 億円
うち第三分野部分	1,681 億円	100.5%	1,673 億円
構成比	30.2%	+0.6%	29.6%

- (注) 1. 全て年換算保険料ベースで記載しています。
- 新契約、消滅契約、解約・失効契約、保有契約の年換算保険料については下記のとおりです。
- ・年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。
  - ・「第三分野部分」とは、「第三分野商品」の保険料と、傷害・疾病・介護等のいわゆる第三分野の保障に充当される「特約」の保険料を商品の種類を問わず集計したものの合計です。
2. 「消滅契約」（死亡・満期等を除く）とは、解約・失効、減額、復活（失効から控除）を集計しています。本文中の消滅契約は全て同じ定義として使用しています。
3. 消滅率は対年度始保有契約年換算保険料で算出しています。その前年同期比欄は、対前年同期増減を表示しています。
4. 7月目・13月目・25月目継続率は平成25年4月から平成25年9月に判明した継続率の累計値を表示しています。（7月目継続率の対象は平成24年7月から平成24年12月に募集した契約、13月目継続率の対象は平成24年1月から平成24年6月に募集した契約、25月目継続率の対象は平成23年1月から平成23年6月に募集した契約です。）
- なお、一部の契約について計算方法を変更しております。
5. 保有契約年換算保険料の第三分野部分構成比の前年度末比欄は、対前年度末増減を表示しています。

## 2. 収益の状況

### (1) 基礎利益

基礎利益は139億円となりました。内訳は以下のとおりです。

#### ①費差損益

費差損益は、保有契約の減少に伴い、前年同期に比べ23億円減少しました。

#### ②危険差損益

危険差損益は、保有契約の減少に伴い、前年同期に比べ21億円減少しました。

#### ③逆ざや額

逆ざや額は、利息および配当金等収入の増加、予定利息の減少により、前年同期に比べ75億円改善しました。

#### 基礎利益の状況

区分	平成25年度上半期		平成24年度上半期
		対前年同期増減	
基礎利益	139億円	+30億円	108億円
費差損益	76億円	△23億円	100億円
危険差損益	436億円	△21億円	457億円
逆ざや額	△373億円	+75億円	△448億円

### (2) 経常利益・中間純剰余

経常利益は277億円、中間純剰余は250億円となりました。

#### 経常利益・中間純剰余の状況

区分	平成25年度上半期		平成24年度上半期
		対前年同期増減	
経常利益（△経常損失）	277億円	+422億円	△144億円
中間純剰余	250億円	+224億円	25億円

### 3. 財務の状況

#### (1) 有価証券の含み損益

有価証券全体では、1,783億円の含み益となりました。国内株式は568億円の含み益、国内債券は1,237億円の含み益となりました。

有価証券の含み損益の状況【一般勘定】(有価証券のうち時価のあるもの)

区分	平成 25 年度上半期末		平成 24 年度末
		対前年度末増減	
有価証券全体	1,783 億円	△481 億円	2,264 億円
うち国内株式	568 億円	+232 億円	336 億円
うち国内債券	1,237 億円	△634 億円	1,872 億円
うち外国証券	△68 億円	△ 45 億円	△22 億円
うちその他の証券	8 億円	△ 25 億円	34 億円

#### (2) ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額

ソルベンシー・マージン比率は、前年度末に比べ 31.0 ポイント上昇し、526.8%となりました。実質純資産額は、前年度末に比べ、304 億円減少し、5,393 億円となりました。

ソルベンシー・マージン比率の状況

区分	平成 25 年度上半期末		平成 24 年度末
		対前年度末増減	
ソルベンシー・マージン比率	526.8%	+31.0%	495.8%

実質純資産額の状況

区分	平成 25 年度上半期末		平成 24 年度末
		対前年度末増減	
実質純資産額	5,393 億円	△304 億円	5,698 億円

以 上